

オーストリア情勢月報

(2026年8月)

1. 主要経済指標
2. 政党支持率
3. 経済情勢
4. 内外政・社会情勢

在オーストリア日本国大使館

(注) 情報の信頼性には注意を払っておりますが、出典の正確性を保証するものではありません。また、営利目的での使用、無断転載はお断りいたします。

1. 主要経済指標

(1) オーストリア

		2025 年	2025 年			2026 年									出典 (単位)
			10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
実質 GDP 成長率		0.8	1.1 [0.2]			0.9 [0.2]			0.8 [0.0] *						1 (a, b)
労働	標準賃金指数	139.7	139.9	140.2	140.3	141.6	141.7	141.7	142.1	142.7	142.7	143.5			1 (c)
	失業率 (ILO 基準)	5.7	5.8	5.9	5.8	5.6	5.9	5.7	5.9	6.0	5.8	6.2			2 (a)
消費	小売売上高指数 (自動車除く)	116.6	123.5	115.9	135.2	108.1	104.1	120.4	121.7	117.3					1 (d)
	自動車売上高指数	119.5	136.9	121.9	105.7	101.2	113.1	144.8	133.5	122.7					1 (d)
企業	生産指数	102.8	109.3	109.8	107.1	87.3	94.6	111.8	101.5	100.8	107.1				2 (d)
	製造業景況指数	-4	14			8			5						3 (e)
	破産件数	6,857	1,747			1,687			1,714						4 (f)
国外	貿易収支 (通関ベース)	-71	-5.6	-5.2	-13.4	-0.7*	3.4*	-5.6*	-4.3*	-6.4*					2 (g)
	輸 出	1,898	175	165	144	151*	162*	182*	171*	157*					2 (g)
	輸 入	1,969	181	170	157	151*	158*	187*	175*	163*					2 (g)
	経常収支	95.5	26.7			73.3									5 (g)
	外国人旅行客数	3,350	214	141	320	325	322	241	177	235	292				2 (h)
	日本人旅行客数 ウィーン州の日本人旅行客数	12.5 8.7	1.1 0.8	0.8 0.6	1.3 1.0	0.6 0.4	1.0 0.7	1.1 0.8	0.7 0.5	1.3 0.9	1.2 0.9				2 (h) 6 (h)
物価	消費者物価指数 (CPI) 上昇率	3.6	4.0	4.0	3.8	2.0	2.2	3.2	3.4	3.7	3.2	2.8			2 (a, b)

出典：1. オーストリア経済研究所 (<https://www.wifo.ac.at>)、2. オーストリア統計局 (<https://www.statistik.at>)、3. オーストリア産業連盟 (<https://www.iv.at>)、
4. オーストリア融資保護連盟 (<https://www.ksv.at>)、5. オーストリア国立銀行 (<https://www.oenb.at>)、6. ウィーン観光局 (<https://b2b.wien.info/de>)

(単位)：(a) %、(b) 前年同期比 (括弧内は前期比)、(c) 2016 年を 100 とした値、(d) 2021 年を 100 とした値、(e) 「良いという回答の割合」－「悪いという回答の割合」、(f) 件、(g) 億ユーロ、(h) 万人

*暫定値

(2) 中・東欧

(注1) CPI：消費者物価指数
(注2) 実質 GDP 成長率と CPI 上昇率は前年比
(注3) 2026 年と 2027 年は予測値

チェコ <https://wiiw.ac.at/czechia-overview-ce-5.html>

	2025 年	2026 年	2027 年
実質 GDP 成長率	2.6%	2.2%	2.3%
CPI 上昇率	2.3%	2.6%	2.9%
失業率	2.8%	3.3%	3.2%

ポーランド <https://wiiw.ac.at/poland-overview-ce-8.html>

	2025 年	2026 年	2027 年
実質 GDP 成長率	3.6%	3.7%	2.9%
CPI 上昇率	3.3%	3.5%	3.7%
失業率	3.1%	3.1%	3.0%

オーストリア <https://www.wifo.ac.at/daten/wifo-wirtschaftsdaten>

	2025 年	2026 年	2027 年
実質 GDP 成長率	0.8%	0.9%	1.1%
CPI 上昇率	3.6%	3.2%	2.4%
失業率	5.7%	5.8%	5.5%

スロバキア <https://wiiw.ac.at/slovakia-overview-ce-12.html>

	2025 年	2026 年	2027 年
実質 GDP 成長率	0.8%	0.5%	1.6%
CPI 上昇率	4.2%	4.0%	3.5%
失業率	5.4%	5.8%	5.8%

ハンガリー <https://wiiw.ac.at/hungary-overview-ce-6.html>

	2025 年	2026 年	2027 年
実質 GDP 成長率	0.5%	1.7%	2.6%
CPI 上昇率	4.4%	3.7%	3.3%
失業率	4.4%	4.4%	4.3%

クロアチア <https://wiiw.ac.at/croatia-overview-ce-4.html>

	2025 年	2026 年	2027 年
実質 GDP 成長率	3.4%	2.6%	2.7%
CPI 上昇率	4.4%	4.6%	2.9%
失業率	4.9%	4.8%	4.8%

スロベニア <https://wiiw.ac.at/slovenia-overview-ce-13.html>

	2025 年	2026 年	2027 年
実質 GDP 成長率	1.1%	1.9%	2.2%
CPI 上昇率	2.5%	3.0%	2.3%
失業率	3.9%	3.8%	3.6%

2. 政党支持率

(1) 国民議会選挙を仮想した支持政党

	2024 年	2025 年				2026 年							
	国民議会選挙得票率	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
自由党	28. 8%	36%	38%	38%	38%	36%	36%	36%	38%	38%	38%	37%	38%
国民党*	26. 3%	21%	20%	19%	18%	20%	22%	21%	20%	21%	20%	19%	22%
社民党*	21. 1%	19%	17%	18%	18%	18%	16%	18%	18%	18%	18%	16%	15%
NEOS*	9. 1%	9%	8%	10%	9%	8%	9%	7%	7%	8%	7%	8%	7%
緑の党	8. 2%	10%	11%	10%	11%	10%	10%	11%	11%	10%	12%	12%	11%

(2) 首相適任者として支持する政治家

	2025 年				2026 年							
	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
キクル自由党党首	31%	31%	31%	33%	31%	32%	32%	32%	32%	36%	35%	34%
シュトッカー国民党党首（首相）*	13%	13%	10%	12%	15%	13%	12%	14%	16%	11%	12%	11%
バブラー社民党党首（副首相）*	9%	10%	9%	9%	9%	7%	9%	9%	8%	7%	8%	7%
マインル＝ライジンガーNEOS 党首*	6%	7%	8%	7%	7%	8%	6%	7%	7%	8%	8%	6%
ゲヴェスラー緑の党党首	6%	6%	7%	6%	7%	7%	8%	7%	7%	9%	7%	8%

*与党

出典：エスタライヒ紙 (<https://www.oe24.at/oesterreich/politik/umfragen>)

3. 経済情勢

(1) オーストリア

①「オーストリアで干ばつにより農家に記録的な被害が発生」

オーストリア雹害保険組合の試算によると、目下の猛暑とこれにともなう雨不足により、オーストリアの農家は少なくとも10億ユーロの被害を被る見通しである。8月10日現在、2026年の干ばつ、雹、嵐、洪水、霜による農家の被害は10億8,000万ユーロに達しており、そのほとんどが干ばつによるものである。この数字は前年の約10倍であり、例年とは次元が異なる。その際、農産物の生産量はとりわけトウモロコシで前年比25%、その他の穀物で同14%、牧草等で同45%の減少となっており、今後、農産物及び食肉の価格が上昇すると予想されている。10億ユーロ超の被害のうち、損害保険でカバーされるのは4億ユーロ程度となる。これを受け、オーストリア連立政権は、農家に対して損害保険料補助金増額、社会保険料免除などにより総額2億4,000万ユーロ規模の支援を実施することで合意した。

◆関連リンク：<https://www.derstandard.at/story/3000000334914/eine-milliarde-euro-schaden-in-der-landwirtschaft-durch-duerre>

オーストリア農林省、各紙(11日、21日付)

②「ウィーン空港がオーストリア連邦軍と正式に提携」

ウィーン空港とオーストリア連邦軍が正式に提携関係を結んだ。これにより、ウィーン空港は将来的にオーストリア連邦軍兵站学校と航空貨物、航空機技術、ロジスティックス、人員教育などの分野で協力する。重点分野は緊急時の対応で、ウィーン空港と兵站学校による合同訓練も実施される。ウィーン空港はとりわけ中・東欧地域へのゲートウェイとしての役割を担うオーストリアで最も重要な航空貨物拠点であり、災害時の人員輸送、特殊輸送、物資調達などでもノウハウを有する。

◆関連リンク：https://viennaairport.com/unternehmen/presse_news/presseaussendungen_news_2?news_beitrag_id=178704622850

ウィーン空港公社(19日付)

③「ウィーン州の夏観光は堅調に推移」

ウィーン観光局の発表によると、7月のウィーン州の旅行客数は前年同月比2.0%増の約79万人(旅行客宿泊数は同2.6%増の約185万泊)を記録した。ただし、アジア・中東からの旅行客は同5.6%減となり、引き続きイランでの戦争の影響を大きく受けている。日本人については、低いレベルであるが、コンスタントに増加を続けており、旅行客数は同6.4%増の6,775人、旅行客宿泊数は同2.9%増の1万5,354泊。また、ウィーン空港公社の発表によると、7月のウィーン空港の乗降客数は同4.7%減の約313万人であった。

◆関連リンク：<https://b2b.wien.info/de/newsroom/corporate-news/statistik-juli-2026-1133130>

ウィーン観光局、ウィーン空港公社(19日、24日付)

(2) 中・東欧

①「ドナウ川の水位低下により中・東欧諸国で電力供給危機」

ドナウ川の水位低下が中・東欧諸国の電力供給に危機をもたらしている。7月31日、ルーマニア政府は冷却水不足に伴い、チェルナヴォダ原発の停止手続きを開始した上、8月を対象にエネルギー緊急宣言を発動し、個人及び企業に電気の節約を呼びかけた。同原発はルーマニアの電力消費の約20%をカバーしており、今後、水力発電への負担が大きくなるため、自動車製造大手のダチア、フォードなどの大企業が自主的に生産を一時停止した。同時にルーマニア政府はブルガリア、ギリシャ、ウクライナと夜間の電力輸入について協議を開始した。同じ問題は電力消費の約3分の2をルーマニアから輸入しているモルドバでも発生している。また、ハンガリーは電力消費の約50%をカバーしているパクシュ原発の稼働を制限することを余儀なくされ、辛うじて完全停止を免れた。他方、電力消費の約70%を水力発電でカバーしているセルビアでも電力供給に支障が生じている。

◆関連リンク：<https://kurier.at/politik/ausland/akw-atomkraft-donau-wasser-strom-frankreich-abschaltung-2/403183620>

各紙(3日、17日付)

②「ネプチューン深海開発計画による天然ガスはオーストリアに供給されない見通し」

オーストリアのエネルギー大手オーストリア石油公社(OMV)のルーマニア子会社であるOMV ペトロムとルーマニアの国営石油会社であるロムガスは、黒海のルーマニア沖で天然ガスを採掘するネプチューン深海開発計画を進めているが、2027年から年間約80億立方メートルの天然ガスの供給を開始する見通しである。同計画は約1,000億立方メートルの天然ガス埋蔵量を誇るEU内で最大のガス・プロジェクトであり、これにより、ルーマニアはEU最大のガス生産国になる。ただし、業界の専門筋によると、同計画による天然ガスはひとまず、南東欧、ハンガリー、ウクライナ等に供給される見通しであり、オーストリアは恩恵を受けない。これらの諸国でガスの需要が高いことが理由であるが、ブルガリアからルーマニアを経由し、ハンガリーを結ぶBRUAガスパイプラインがハンガリーの対オーストリア国境手前で止まっており、工事によりオーストリアまで伸びない限り、そもそもオーストリアへの供給は物理的に不可能な状況にある。ハンガリーはコスト面で割に合わないとして、オーストリア国境までのパイプライン延長工事を2017年に中止し、目下、再開の見通しは立っていない。同計画による天然ガスは、オーストリアがロシア産天然ガスの代替として輸入している米国産液化天然ガス(LNG)よりも安価となる。

◆関連リンク：<https://kurier.at/wirtschaft/omv-gas-neptun-oesterreich-rumaenien/403183510>

クリアー紙(13日付)

4. 内外政・社会情勢

①「オーストリアで過去最高気温となる 41.2 度を記録」

オーストリアにおける最高気温は 2013 年にニーダーエスタライヒ州バード・ドイチュ＝アルテンブルク市で記録した 40.5 度であったが、8 月 4 日にウィーン市で 41.0 度、さらに翌 5 日にバード・ドイチュ＝アルテンブルク市で 41.2 度を記録し、過去最高気温を更新した。今夏、オーストリアは過去に例がない猛暑に見舞われ、オーストリア保健・食品安全機関（AGES）の発表によると、猛暑を原因とする推定死者数は 6 月と 7 月だけで 646 人に上っており、2024 年の過去最高記録（570 人）を上回っている。

◆関連リンク：<https://www.diepresse.com/41143124/41-2-grad-in-bad-deutsch-altenburg-hitze-extremwert-erneut-uebertroffen>

各紙(1 日、30 日付)

②「広島と長崎への原爆投下から 81 年が経過したことを受けてマインル＝ライジンガー外相がプレスリリースを発出」

マインル＝ライジンガー・オーストリア外相は、広島と長崎への原爆投下から 81 年が経過したことを受け、原爆の恐ろしさと核兵器廃絶の必要性を改めて強調するプレスリリースを発出した。同外相はプレスリリースの中で長崎原爆資料館に展示された被爆時計を例に挙げつつ、「広島と長崎の原爆生存者の声は原爆が引き起こした計り知れない苦しみを思い起こさせる。原爆の影響は国境と世代を超える。核の脅威が再び増している現在、その影響についてより一層考える必要がある」と警鐘を発し、「継続的な安全保障は抑止力ではなく外交を通じてのみ可能である。オーストリアは核軍縮を積極的に推進しており、核禁止条約の発効に尽力した国の一つである。停滞する核軍縮のプロセスを再び軌道に乗せることがオーストリアの使命である」と志を述べた。

◆ 関 連 リ ン ク：<https://www.bmeia.gv.at/ministerium/presse/aktuelles/alle/musterjahr/08-1-1/ausserministerin-meinl-reisinger-zum-81-jahrestag-der-atombombenabwurfe-auf-hiroshima-und-nagasaki-gerade-in-zeiten-wachsender-eskalationsgefahr-bleibt-die-nukleare-abruestung-unser-ziel>

オーストリア外務省（6 日付）

③「上半期にオーストリア国籍の取得者数が大幅に増加」

オーストリア統計局の発表によると、2026 年上半期の外国人等のオーストリア国籍取得者数は前年同期比 17.4%増の約 1 万 3,700 人を記録した。うち、オーストリア国内での取得者数は同 33.6%増の約 9,750 人、国外での取得者数は同 9.6%減の約 3,950 人となっている。出身国別ではシリアが全体の 24%を占め、以下、トルコ（11%）、アフガニスタン（10%）、イラン（4%）の順になっている。州別ではウィーン州が同 60.5%増の 3,333 人と国内取得者数の約 3 分 1 を占めている。

◆関連リンク：<https://www.statistik.at/fileadmin/announcement/2026/08/20260812Einbuengerungen2026Q2.pdf>

オーストリア統計局（12 日付）

④「オーストリア連邦軍が連邦軍・国防省関係者全員にロシアの諜報活動を注意喚起する電子メールを送付」

オーストリア連邦軍は全ての兵士、全ての国防省職員、全ての民兵を対象としてロシアの諜報活動を注意喚起する電子メールを送付した。同電子メールの

中で連邦軍は、21 人のロシア人外交官を名前・顔写真付きで添付し、この 21 人に関する情報提供を要請した。この 21 人の多くはオーストリアに赴任している現役外交官で、内訳はロシア大使館所属が 8 名、欧州安全保障協力機構（OSCE）ロシア代表部・派遣団所属が 7 名、国際機関ロシア代表部所属が 5 名などとなっており、ロシアの諜報機関のために活動している疑いがある。オーストリア政府はロシアのウクライナ侵攻以来、14 人のロシア外交官に国外退去命令を出しているが、危険人物としてロシア外交官を名前・顔写真入りで情報共有したのは初めてである。

◆関連リンク：<https://www.derstandard.at/story/3000000335435/bundesheer-warnt-soldaten-vor-kontaktaufnahme-durch-21-mutmassliche-kreml-agenten>

各紙（13 日付各紙）

⑤「オーストリア応用美術博物館で盗難被害」

ウィーン州警察の発表によると、8 月 27 日にウィーンの応用美術博物館で高価なダイヤモンド・ネックレスが盗まれた。このネックレスは 1939 年にエジプト王室向けに作成されたもので、600 個以上のダイヤモンドで装飾されていることから、10 年前のオークションで約 370 万ユーロの値がついている。犯人は男性二人組とみられ、開館時間中に展示用ガラスケースを破壊し、逃走した。ウィーンでは 2003 年に美術史博物館から 5,000 万ユーロ相当の工芸品「サリエラ」が盗まれる事件が起きているが、それ以来の被害額の大きい盗難となった。

◆関連リンク：<https://wien.orf.at/stories/3368770/>

各紙（27 日付）

⑥「ウィーン市交通局が 9 月 1 日から電動キックボードの車内持ち込みに規制を導入」

ウィーン市交通局（Wiener Linien）は 9 月 1 日から電動キックボードを自転車と同じ扱いとする措置を開始する。これまで電動キックボードに対して乗車規制はなかったが、この措置により、バスとトラムへの持ち込みが禁止され、地下鉄では平日月曜日から金曜日の間、朝 9 時まで及び 15 時から 18 時まで持ち込みが禁止される。違反者には 50 ユーロの罰金が科される。電動でないキックボードの持ち込みは引き続き規制されない。5 月 1 日から道路交通法上、電動キックボードが自転車と同等に扱われていることに対応した措置である。なお、電動キックボードについては、ニーダーエスタライヒ州ヴィーナー・ノイシュタット市が 9 月 7 日以降、市内中心部で走行に規制を設ける。

◆関連リンク：<https://kurier.at/chronik/wien/neue-regeln-wiener-linien-wien-e-scooter-oeffi/403187368>

各紙（30 日、31 日付）

（以 上）